

公害による健康被害を許すな！☆自然環境・生活環境の破壊を許すな！



# 大阪から公害をなくす会ニュース

No.472

2020.1.10

発行/  
大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号  
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121  
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp URL http://oskougai.com/

発行責任者 金谷 邦夫 毎月10日発行 個人会員 月250円

スイセン 画・加納忠



あけましておめでとうございます

再生エネ発電自給率450%の豊後大野市の原尻の滝

大阪から公害をなくす会会長 金谷 邦夫

大阪から公害をなくす会の取り組みに、日ごろから御参加、御協力いただきまして有難うございます。本年もよろしくお願ひします。

2018年から相次ぐ大きな災害は、どこでもいつ起きるかわからない時代に入っていることを、国民に認識させるに十分なことでした。しかし、それにもかかわらず、国も、私たちの身近な自治体も大事な国民、住民の安全・安心を守ることが第一義になっておらず、軍事化、ギャンブル都市化に最大の力を注いでいます。

災害とともに、またその大きな原因とも言える地球温暖化問題も、その影響を一番受ける若い世代の立ち上がりで世界中で起きています。日本はまだ一部にとどまっていますが、早くもっと大きなうねりになってほしいものです。

大阪から公害をなくす会は、今年もこうした課題に積極的に参加していきたいと思ひます。

また地元の課題としての道路開発問題等公害の被害者支援も、会の重要な課題として機会あるごとに、状況を紹介し支援をし続けていく所存です。

19年12月に開催されたCOP25では、マスコミ一般紙も報道せざるを得ないくらい、日本政府の

石炭火力発電固執問題は世界からも白眼視される状況になっています。石炭火力発電所建設の継続は地域的な健康被害発生・増悪とともに、地球温暖化対策に大きなブレーキをかけ逆行するものとして、引き続き反対の運動を支援し、自らの課題として取り組んでいきたいと思ひます。

原発依存と石炭火力発電依存の問題は、再生エネルギー技術開発が決定的に遅れ、経済的損失も大きいという危惧もやっと表明され始めています。再生エネルギー技術開発を行い、その成果をもって国内のみならず、発展途上国への支援にあたるならば、経済的にも、地球温暖化対策にも、日本の国際的信頼回復にとっても有利になることは間違いないことを、環境運動の視点からも広げていきたいと思ひます。

未来のために 科学の声を聞こう

第48回 公害環境デー

2020年2月1日(土) 13:30~16:30

エル・おおさか南館ホール

特別講演「環境問題を宇宙科学者の目で考える」  
池内 了氏(総合研究大学院大学 名誉教授)